

＜メッセージ＞

西村ちなみ衆議院議員

みなさま誠にお疲れ様です。実効性ある避難計画と民主的プロセスによる県民同意がない限り、再稼働は認められません。県民同意をないがしろにして二元代表制の県議会に託すとし、「県民の信を問う」という自らの言葉に反して再稼働容認することは、大いに問題です。これからも県民の意をうけて取り組みます。

菊田真紀子衆議院議員

県民意識調査でも、多くの県民が柏崎刈羽原発再稼働に不安を抱えていることが明らかです。こうした声を置き去りにし、国や経済界の要請に沿って再稼働を認めることは、県のリーダーとして責任を果たす姿とは言えません。「県民に信を問う」との公約を是非、守っていただきたい。県議会での採決に置き換えることは認められません。福島の悲劇を決して繰り返さないためにも、私は県民の命と暮らしを守る立場から、東電による再稼働に明確に反対します。

黒岩たかひろ衆議院議員

柏崎刈羽原発の再稼働に対して、多くの県民が不安と疑問の声を上げている中、心より敬意と連帯の思いをお伝えします。いのちと暮らしを守る政治とは、何よりも現場の声に耳を傾け、住民の合意を大切にすることです。いま求められているのは、丁寧な議論と、未来世代に対する責任ある判断です。皆様の静かで力強い運動が、社会を動かし、県民に直接信を問うべき大きなうねりとなることを信じています。私も引き続き、国政の場から声を届け、皆様とともに歩んでまいります。

米山隆一衆議院議員

11月21日花角知事は、柏崎刈羽原発の再稼働を容認し県議会に信を問う意向を表明しましたが、花角知事が強引に終了した三つの検証は論点を列挙しただけで結論を出しておらず、福島原発事故級の事故を想定した現実的避難計画もありませんし、県民から選ばれた知事が、二元代表制の下別途県民から選ばれた県議会に信を問うという花角知事の主張は、地方自治の原則に反するものです。花角知事の判断は到底認められるものではありません。

梅谷守衆議院議員

先日、再稼働の容認を知事が表明しましたが、避難経路の確保や県民に対する説明が不十分なまま、再稼働に前のめりになる県の姿勢には疑問を抱かざるを得ません。本日の集まりを通じて、皆さまの思いが県民に更に広く共有されることを願いとともに、私も引き続き県民の安全を第一に、この問題を厳しく注視してまいります。結びに、本日の集会のご成功と、お集りの皆さまのご健勝を心よりご祈念申し上げます。

打越さく良参議院議員

花角知事は、2018年の知事選で「脱原発の社会をめざします」と公約していたのではありませんか。「人間の鎖」を見て思い出していただけませんか。知事は県議会の同意が得られれば国と東京電力に「地元合意」を伝えるそうです。しかし、「県民投票条例案」を否決した県議会の議決が民意を代表するとは思えません。実効性のある避難計画と民主的プロセスによって直接県民の信を問うた県民合意を得ない今までの再稼働は認められません。

森ゆうこ参議院議員：

花角知事が柏崎刈羽原発の再稼働を容認しました。核ゴミの処理、有効な避難計画、ドローン侵入への対応、制御棒トラブルの原因未解明など、重要な課題は何も解決していません。「再稼働の条件は現状では整っていない」と6割の県民が意識調査に回答する中での強行は、民意を完全に置き去りにするものです。こどもたちの未来と県民の命と暮らしを守るため、再稼働に断固反対し、皆さまと共に行動していきます。